

【学生の皆さんへ】

IGL 医療福祉専門学校

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う学校生活の対応について【更新】

登 校 前

- ① 毎朝体温を測り、体温及び症状を記録してください。

発熱等の風邪の症状がある場合等には登校しないでください。

体温計がない場合、熱っぽい感じがあれば登校しないでください。

* 上記のような新型コロナウイルス感染拡大に関わる欠席は当分の間、**出席停止**とします。

出席停止	出席すべき日数から除外する。(例：15回の授業予定が2回出席停止となると13回の授業となる。試験の受験資格の計算時の分母が減る。) 又は、授業の遅れなどが懸念される場合は、遠隔授業、課題授業を自宅で受講し出席とする。実習など遠隔授業、課題授業が困難な場合、後日補講を受講し出席扱いとする。
------	---

- ② 手を洗う際や急に咳やくしゃみが出る際に使用できるよう、ハンカチを携帯しましょう。

登 校 時

- ① 常時マスクを着用し、人込みをなるべく避けて登校しましょう。

スクールバス

- ① 密閉空間を避けるため、窓を開けて運行します。消毒液が必要な場合は申し出てください。
② 車内では常時マスクで口と鼻を覆いましょう。
③ 咳エチケットを守るとともに、不要な会話は慎みましょう。

学校到着時

- ① 玄関ロビーに設置されているアルコールで手指消毒をしましょう。
② エレベーターは人との距離が近くなるため、出来るだけ階段を利用しましょう。

教 室

- ① 休憩時間や授業時は窓や出入口を少し開けたままにしましょう。
騒音や暑さが気になる場合は定期的に窓を開けて換気をしましょう。(最低1時間に1回)
② 常時マスクを着用しましょう。
③ 昼食等の食事をする場合は必ず手を洗いましょう。また、向かい合い会話をしながらの食事は控えましょう。食事前に限らず手洗いはこまめに1日に何度でも行いましょう。

その他注意事項

- ① サークル活動(練習試合・対外試合・通常活動等)は3密回避を前提とし内容によって一部認めます。顧問の教員の指示に従ってください。但し合宿は中止してください。
② 送別会、歓迎会、懇親会など、参加者同士の濃厚接触の可能性が高い行事や、不特定多数の人が集まる不要不急の集まりへの出席はしないでください。
③ 海外渡航は原則中止してください。
④ 就職活動は各企業の方針に従うこと。やむを得ず参加する場合は「1. 感染予防について」に十分留意し、感染予防に努めること。
⑤ 可能な限り最低1メートルの社会的距離(ソーシャルディスタンス)をとりましょう。

1. 感染予防について

1. 手洗い・うがいを徹底するとともに、必要に応じて手の消毒等も行う。
2. マスク等の咳エチケットを徹底するとともに、できるだけ人混みを避ける。
3. 外出中は、意識して、手で眼、鼻、口等に触れないようにする。
※咳やくしゃみをおさえた手で触ったドアノブ等にウイルスが付着し、それを触った手で眼、鼻、口に触れることにより粘膜から感染する可能性があるため、上記を徹底すること。
4. 換気の悪い密閉空間、多くの人の密集する場所、近距離の会話での密接場面(3つの「密」)が重なる場面を避ける。

2. 健康管理について

以下の指針に従い、自身の健康管理を行う。なお、該当事項が生じた場合には担任に連絡すること。

1. 風邪や発熱などの軽い症状が現れた場合は、授業や仕事を休み、外出を控え自宅で療養すること。
また、毎日体温を測定し、併せて2週間の行動記録も記録しておくこと。
2. 次の症状のいずれかが現れた場合は、「帰国者・接触者相談センター」に相談し、指示を仰ぐこと。
 - ①強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)、高熱等の強い症状のいずれかがある。
 - ②発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続いている。
 - ③味覚異常、嗅覚異常が続いている。
3. 症状の有無にかかわらず、次に該当する場合も、「帰国者・接触者相談センター」に相談し、指示を仰ぐこと。
 - ①新型コロナウイルス感染症と確定した者と接触した。
 - ②新型コロナウイルス感染症の疑いがある者の気道分泌液、体液、糞便等の汚染物質に触った、それらの処理作業に携わった、あるいは、それらの近くにいた。
 - ③新型コロナウイルス感染症の疑いがある患者を診察・看護・介護・同居した。